

可視化データの利活用に向けて

～可視化データから都市計画道路を考える～



宮崎県 延岡市 都市計画課

1.延岡市の現状

GIS及び3D都市モデルの導入状況

- 令和4年度末から公開型・統合型GISクラウドサービスの運用を開始
- 令和4年度に3D都市モデルを作成し、今年度PLATEAUへ掲載（オープンデータ化）

GISや3D都市モデルの利活用を促進したい！
日常業務で管理している情報の可視化を推進したい！



i-都市再生実務研修に参加

都市計画道路をテーマに都市構造可視化を行った

2.可視化データの選定

都市計画道路に関連するデータを収集

日常業務で取り扱う情報を活用（市独自データ）

都市計画法53条許可物件の情報

申請内容や許可内容をエクセルでデータ管理している

都市計画法53条申請とは・・・

都市計画施設（道路・公園等）の区域に建築物を建築する際に必要な申請

➡未整備の都市計画道路にかかる建築物の申請が多数

国勢調査結果を活用

令和2年国勢調査

統計名：人口移動、就業状態等及び従業地・通学地（250mメッシュ）

「15歳以上で通勤・通学に自家用車を利用する人数」

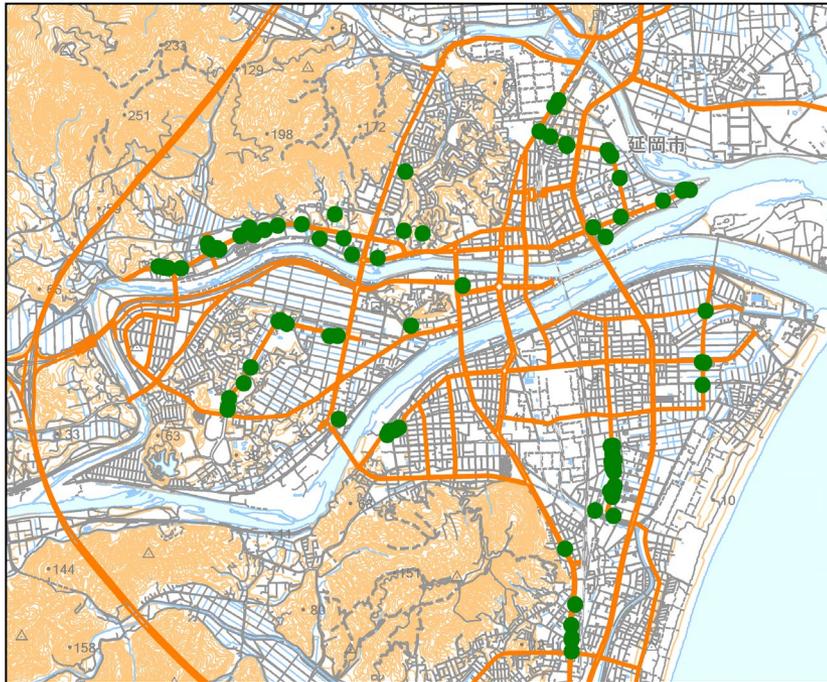
政府統計の総合窓口「e-Stat」よりダウンロード

3. データの可視化

各種データを様々なツールを利用し可視化

法53条許可物件を可視化

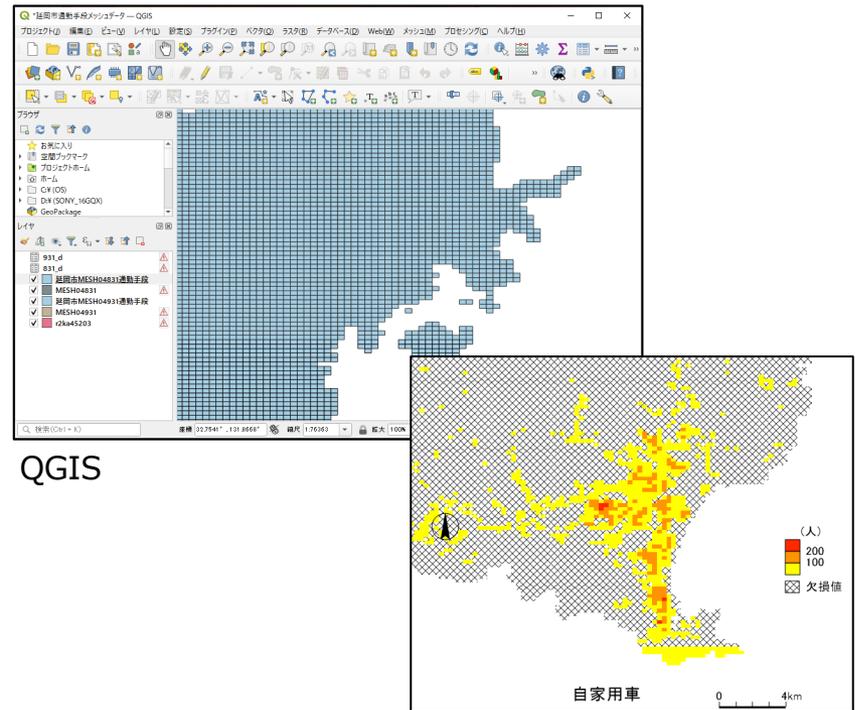
許可物件を、住所をもとに市の統合型GISのアドレスマッチングで可視化



補注：市統合型GISを使用

R2国勢調査結果を可視化

QGISやMANDARAを利用し可視化



QGIS

MANDARA

4. 可視化データから都市計画道路を分析

未整備の都市計画道路周辺の自家用車利用状況

自家用車の利用者が多い場所
→整備を優先する理由の一つとなるのではないか？



自家用車の利用者が少ない場所
→計画の見直しや、計画廃止を検討する際の判断材料の一つとなるのではないか？

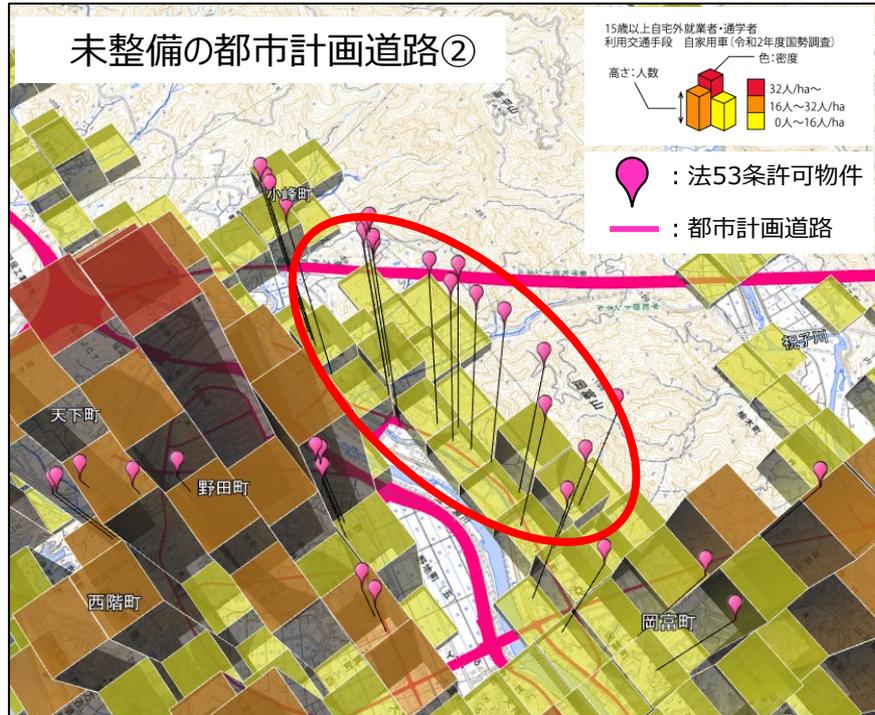


図 延岡市の15歳以上で通勤・通学に自家用車を利用する人数と法53条許可物件

補注：地理院地図を使用

5.3D都市モデルでの可視化データ活用

令和4年度に整備した3D都市モデルで可視化データを利用

- ・可視化データと建物モデルを重ねることで、より周辺環境をイメージしやすくなった
- ・未整備路線にある建築物の数や大きさを視覚的にとらえやすい
- ・法53条許可物件の建物情報を、3D都市モデルの属性情報（都市計画基礎調査結果）から確認することができた

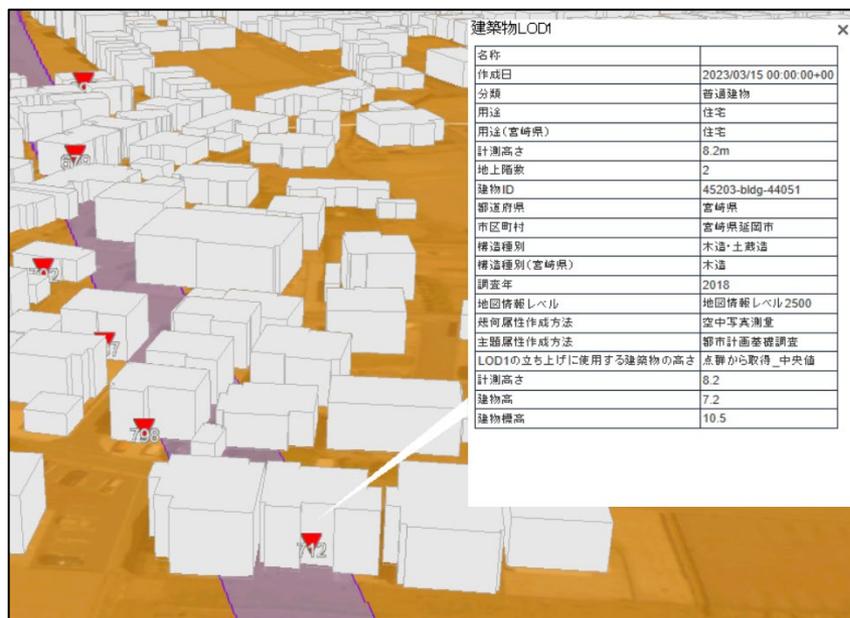
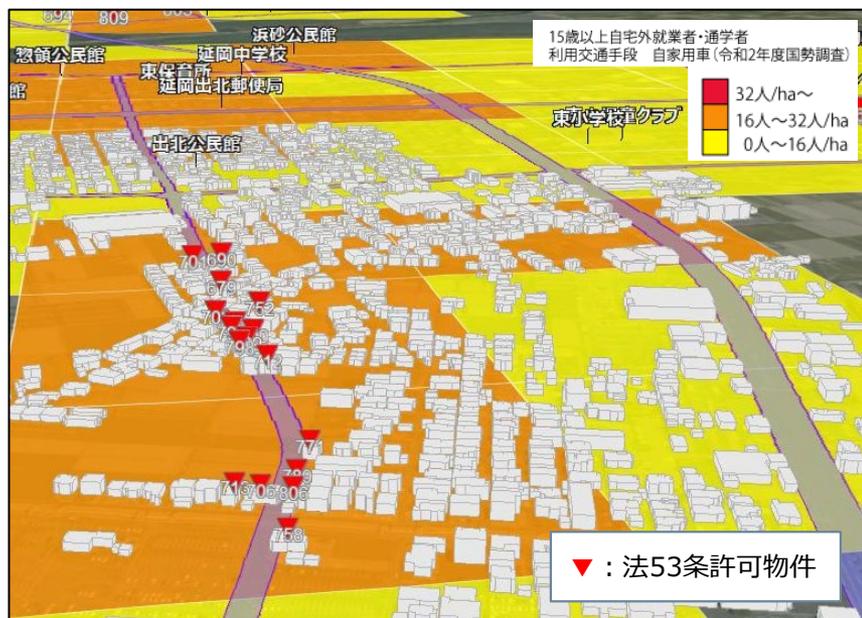


図 可視化データと延岡市3D都市モデル（LOD1）

図 建物情報の確認

補注： 航空写真（R4延岡市）、3D都市モデル（R4延岡市）

6.分析結果の報告と情報共有

都市計画課内で可視化したデータを共有

- ・可視化データを活用した都市計画道路の分析結果を報告
- ・可視化データの活用方法を課内で共有し意見交換

〈結果〉 可視化することで伝えやすく、理解しやすい
職員自身で様々なデータを可視化する方法を共有できた



課の職員が可視化データを活用できるよう、市の統合型GISに登録した



市統合型GIS

